

2010年度西地区部会研究会第1回運営委員会議事録

日 時：2009年10月14日（水）14：00～15：30

会 場：金城学院大学図書館 4階第2多目的室

出 席：同志社大学（委員長校・部会長校）

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（東海地区理事校）

中京大学（東海地区研究会運営委員会委員長校）

京都産業大学（2009年度当番校）

金城学院大学（2010年度当番校）

図書館長 真銅 正宏

課 長 上田 裕保

課 長 守田 正江

事務室長 中河原 省三

事務部長 赤瀬 美穂

図書館長 柴田 道子

課 長 鈴木 卓美

係 長 西尾 十和子

以上、5校 8名

議 事：2010年西地区部会研究会の運営について

1. 開催日時および会場について、次のとおりとした。

日 時：2010年10月21日（木） 10：00～（受付開始9：30）

会 場：金城学院大学 W9号館106教室

※W10号館の会議室を講師・研究発表者・役員控室、当番校スタッフ待機所等に充てる。

2. メインテーマについて

研究会当番校から提案されたテーマ（案）・主旨について協議し、次のとおり決定した。

メインテーマ：「滞在型図書館を目指してー図書館サービスを今一度考えてみようー」

主 旨： 電子ジャーナル・e-bookの普及、そしてGoogleによる図書の電子化などにより、電子リソースが爆発的に増大し、利用者は自宅から、また研究室から、居ながらにして必要な資料を入手できるようになった。そのため、図書館の入館者やILLの件数が減少してきていることが、図書館の会合等でも話題となっている。また、利用者の中には図書館不要論があるなど、大学の中での図書館の必要性が弱くなった印象を与えつつある。

このまま何もしなければ、図書館は文書館と同じとなってしまいかねないのが現状である。その打開策として、利用指導やライティングサービスなど、積極的に利用者に向き合うサービスに目が向けられ、インフォメーション commons からラーニング commons に図書館を変貌させる事になったのではないかと思われる。しかし、多くの大学図書館にとってラーニング commons の運用はハードルが高い。

そこで、ラーニング commons やそれ以外にも、図書館を、考え行動し、知識・情報を得る場所および空間とするために、滞在型の図書館サービスを今一度考えてみることを2010年度研究会の主旨とする。

3. 研究会の構成・時間配分について

研究会の構成・時間配分について、概ね次のとおりとした。研究発表の応募件数を待って詳細を決定する。

開会挨拶	10:00～
講演(1題)	10:20～
昼食・見学	11:30～
研究発表(3～4件)	13:00～
閉会挨拶	16:15～
散会	16:30頃

4. 講演者の人選・演題等について

研究会当番校から提案された講演者・演題について協議し、次のとおり決定した。

(1) 講演者・演題

岡本 真 氏 (アカデミック・リソース・ガイド株式会社 ACADEMIC RESOURCE GUIDE(ARG)編集長)
演題「未定」

(2) 講師依頼

当番校より。

(3) 講師謝礼について

原則として研究会費でまかなう(不足する場合は、部会長校が部会活動費から支出)。

(4) 会報への掲載

私立大学図書館協会報に掲載する講演発表原稿の提出を講演者に依頼する。

5. 研究発表者の人選について

例年通り各地区理事校に推薦(できるだけ各地区より1名の発表者)をお願いすることとなった。

(1) 各地区協議会への依頼について

1) 人選の対象:

ア. 5地区協議会理事校に推薦をお願いする。

イ. 1件を複数の者(学内者、他大学関係者等との共同)で担当することは差し支えない。
他地区、協会以外の者との共同も差し支えない。

2) 推薦依頼:部会長校から各地区協議会理事校に対して正式に研究発表者の推薦依頼を行い、各地区協議会理事校は各加盟館長に、研究発表者の推薦をお願いする。

3) 研究発表件数:最終的には、研究発表者3～4件の決定を行う。

4) 人選締切日:2010年1月下旬頃

5) 研究発表推薦者が少ない場合は、運営委員校で対策を検討する。

(2) 会報原稿執筆について

1) 研究発表の内容は、会報に掲載する。

2) 研究発表者への会報原稿依頼は研究会終了後、部会長校から文書で行う。

3) 2003年度より一件1万円を原稿料・資料代として渡すこととなった。この経費は、部会長校が所管する部会活動費から支出する(研究会当日に処理)。

6. 参加費、業者展示ほか

(1) 参加費は、これまでの研究会経費の執行状況ならびに参加費を確認し、2,000円を目安

とした。研究発表者および会長校（図書館長・事務局2名）からは参加費を徴収しない。

(2) 業者展示

会場は、研究会会場前のW9号館ロビーとする。丸善には取り纏めを依頼済みであり、雄松堂書店等に参加の依頼をする予定。

7. 今後のスケジュール・作業について

以下の今後のスケジュールおよび作業について確認した。

(1) 研究発表者の推薦依頼（部会長校）

部会長校から各地区協議会理事校に対して正式に研究発表者の推薦依頼を行い、各地区協議会理事校は各加盟館長に、研究発表者の推薦をお願いする。

研究発表者の推薦締め切り：2010年1月下旬頃

(2) 開催要領（案）の作成当番校が、講演ならびに推薦のあった研究発表をもとに開催要領（案）を作成し、運営委員校の確認を得る。必要により第2回運営委員会を開催する。

(3) 2009年度西地区部会第3回役員会【2010年3月5日（金）開催】当番校の出席はないため、部会長校より開催要領（案）の説明と提案を行う。

開催要領（案）承認後、4月に部会長校から研究発表者に委嘱状、所属図書館長に派遣依頼状を送付する。

(4) 2010年度西地区部会第1回役員会【総会前日：2010年6月17日（木）】当番校より、開催要領（案）を提案し、承認を得る。

(5) 2010年総会【2009年6月18日（金）】・・・九州共立大学にて

当番校より、開催要領（案）を提案し、承認を得る。

※運営委員会の確認事項は、総会までは原案として取り扱う。

(6) 研究会開催通知発送：当番校

研究会開催通知は総会後に当番校より発送する。出欠席表（欠席校も提出）を付す。宛名シール（あるいは住所データ）は、部会長校より当番校に渡す。その時点の西地区部会加盟校（総会で承認予定の新規加盟校を含む）。

(7) レジюмеほか部会長校から、研究発表者のレジюме・研究申込書を当番校へ（7月～8月）。

当番校は研究会資料作成、発表に必要な機器等確認。

8. その他

(1) 講演者のレジюме、使用機器等について早めに依頼する。

(2) 台風・新型インフルエンザ等の対応については、当番校、部会長校に一任する。

ただし必要があればメールで協議する。

以上

2010年度 西地区部会研究会スケジュール (案)

2009.10.14

事 項	2010年度研究会	担 当
第1回運営委員会案内	2009年 9月30日	部会長校 ⇒ 運営委員校
第1回運営委員会	2009年10月14日	部会長校・運営委員校
研究発表者の募集依頼	2009年10月26日	部会長校 ⇒ 各地区理事校
研究発表者募集・応募		各地区理事校 ⇔ 各地区加盟館
研究発表者推薦締切	2010年 1月27日	各地区理事校 ⇒ 部会長校
西地区部会第3回役員会 中間報告	2010年 3月 5日	部会長校説明
研究発表者派遣依頼等 *研究発表申込書提出期限 *レジュメ提出期限	2010年 4月12日 2010年 7月31日 2010年 8月31日	部会長校 ⇒ 館長、研究発表者 研究発表者 ⇒ 部会長校
西地区部会第1回役員会 協議：開催要領	2010年 6月17日	当番校説明
西地区部会総会 協議：開催要領	2010年 6月18日	当番校説明
研究会開催案内 *参加申込期限 *参加費振込期限	2010年 7月 1日 2010年 7月31日 2010年 7月31日	当番校 ⇒ 加盟館
発表者原稿提出 *印刷原稿提出期限	2010年 9月17日	発表者⇒部会長校⇒当番校
西地区部会第2回役員会 協議：開催運営	2010年10月20日	当番校説明
研究会	2010年10月21日	当番校
講演原稿依頼	2010年度研究会以降	当番校 ⇒ 講演者
研究発表原稿依頼	2010年度研究会以降	部会長校 ⇒ 研究発表者
講演・研究発表原稿 取りまとめ	2011年 1月 末日	研究発表者 ⇒ 部会長校 部会長校 ⇒ 協会報編集委員校